

各会社のスマホ・ケータイ安全教室の概要について

各社のスマホ・ケータイ安全教室のご紹介を簡単にいたしますが、詳細につきましては、インターネット等でご確認をお願いします。

1. NTT d o c o m o

○入門編

対象者：主に小学校高学年や中学校などの生徒

教室概要：自分にも起こり得る身近なトラブルについての気づき、スマートフォン・携帯電話を安全に使うためにはルールとマナーを守ることが必要であることをアニメーションまたはスライドを使用して説明

○応用編

対象者：主に中学校や高等学校などの生徒

教室概要：スマートフォンを中心に、トラブルを未然に防ぐための知識や心がまえを学んでいただくとともに、具体的な事例をスライドで紹介しながら説明

○保護者・教員編

対象者：主に保護者や教員、PTA や地域コミュニティなど団体の方々

教室概要：子どもたちを守る術、子どもたちが上手にスマートフォンや携帯電話を使えるようになるために、どのようなことに注意すべきかを具体的な事例をスライドで紹介しながら説明

○特別支援学校編

対象者：特別支援学校からの申込みのみ

教室概要：入門編、応用編、保護者・教員編に準じる

2. K D D I

○初級コース

対象者：小学校低学年

教室概要：スマホ・ケータイをまだ持っていない、または、持ち始めて間もない子どもたちに起こりやすいトラブル事例を、親しみやすいキャラクターのアニメーションで紹介。アニメーションを振り返りながら、どんなルールやマナーが必要か説明。

○初中級コース

対象者：小学校中学年～高学年

教室概要：小学校中・高学年に起こりやすいトラブル事例を、「怖さ」を実感いただける動画等を使ってご紹介。トラブルを回避するためのポイントや、万一トラブルに巻き込まれてしまった場合の対処法を説明。

○中級コース

対象者：小学校高学年～中学生

教室概要：小・中学生に起こりやすいトラブル事例を、「怖さ」を実感いただける動画等を使って紹介。トラブルを回避するためのポイントや、万一トラブルに巻き込まれてしまった場合の対処法を説明。

○上級コース

対象者：中学生～高校生

教室概要：中学生・高校生に起こりやすいトラブル事例を、「怖さ」を実感いただける動画を使って紹介。被害者にも加害者にもならないためのポイントや、万一トラブルに巻き込まれてしまった場合の対処法を説明。

○保護者向けコース

対象者：保護者

教室概要：子どもたちに身近に起こりうるトラブルの実例を元にした動画を使用。また、お子さまのスマホ・ケータイにフィルタリングを設定する大切さなどを説明。

3. LINE

次の2つのメニューから選択

○講義編：インターネットの特徴やトラブルの際の注意点について学ぶもので、クラス単位から全校生徒を対象

○ワークショップ編：インターネット上のコミュニケーションのあり方について「自らが考える」ことを目的とし、カード教材を利用しながらゲーム感覚で授業を展開していきます。小学校高学年～中学校3年生を対象とし、5～6名の班ごとに進めていくため、クラスごとの実施を推奨

4. ソフトバンク

次の2研修プラスがあるが、いずれも成人のみ対象

○教員向け：「みんなで考えよう、スマートフォン」を使用して教員自らが情報モラル教育を実施出来るように、模擬授業形式

○地域研修会 指導者（PTA役員）向け

「みんなで考えよう、スマートフォン」を使用して、子どもたちの学校や家庭内でのケータイトラブルと向き合うために保護者会などで指導いただける地域の PTA 役員などに向けた指導者研修（単体では申込みは不可、地区とか地域とかが必要）

○実機体験：教員向け、指導者向けの内容に加え、デモンストレーション用機材（iPad）を使用して実際に起こりうるトラブルや機能制限の仕方などを体験